

報道関係各位

平成25年 7月 8日

国立大学法人 東京医科歯科大学

東京医科歯科大学、国内初となる先進の疾患バイオリソースセンターを設置 発足記念シンポジウムを7月16日(火)に開催

国立大学法人東京医科歯科大学（学長・大山喬史）は、医学部・歯学部両附属病院で扱うがん・生活習慣病や難治性疾患の医療情報・生体試料などの高品質なバイオリソースを収集・保管し、産学官連携の医療イノベーション研究資源として安全に利活用するための施設として、疾患バイオリソースセンター（センター長・稲澤譲治）を設置しました。

本センターは、大学附属病院と連携したバイオリソースの一元管理システムを構築した専門のセンターを運用する取組として国内初となるものです。臨床サンプルとそれに付随する臨床情報、並びにゲノム情報をリソースとして産学官医療イノベーション研究を推進させるとともに、個別化医療に対応できる医療人育成のための教育研究施設として、今後の発展が期待されます。

そこで、同センターの発足を記念して、バイオバンク事業と日本の未来医療をテーマに、以下のとおりにシンポジウムを開催いたしますので、ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

【発足記念シンポジウム開催概要】

日時：平成25年7月16日（火）13：00～16：45

場所：東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂

プログラム：

開会の辞 大山喬史 東京医科歯科大学長

来賓挨拶 木村直樹 文部科学省研究振興局学術機関課長

センター紹介 稲澤譲治 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター長

講演 中釜 斉 国立がん研究センター研究所長

「個人に最適な医療の実現を目指したナショナルセンター・バイオバンクの取り組み」

清水 章 京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター開発企画部教授

「臨床研究中核病院の役割・京都大学における取り組み」

武藤香織 東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授

「ヒト試料を用いる研究の倫理支援」

間野博行 東京大学大学院医学系研究科細胞情報学分野教授

「命を救うがん研究：ゲノム情報から創薬へ」

総括 森田育男 東京医科歯科大学研究担当理事（兼）研究・産学連携推進機構長

閉会の辞 吉澤靖之 東京医科歯科大学医療担当理事

【発足記念シンポジウム開催に関する連絡先】

国立大学法人東京医科歯科大学 広報部広報課 三原

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL : 03-5803-5833 FAX : 03-5803-0272

E-mail : kouhou.adm@tmd.ac.jp